



さくげつ

野菜とアパレルのコレボレーション 移住夫婦が「ちょうど良く」日常を飾る

宮本町の路地に佇む「さくげつ」は、田口康範さん・侑希乃さん夫婦が営む食材とアパレルのセレクトショップ。築120年の古民家をリノベーションして2022年3月にオープンした。入口の暖簾をくぐると、古民家の優しい雰囲気の中、野菜や洋服が並ぶ。

取り扱うのは、群馬県産の野菜や全国から集めたこだわりの食品など。ほぼ無農薬で作られる野菜は、最旬のものを生産者から直接仕入れていく。アパレルは自然体で着られる普段着を中心に、桐生発のブランドで康範さんが携わる「dini(きり)」も扱う。おしゃれでありつつ、ほとんどの商品が自宅で洗濯できるのもありがたい。

店の一角には大分県の小鹿田焼（おんたやき）のコーナーも。一子相伝で受け継がれてきた伝統的な焼き物でありながら日常使いにちょうど良く、素材で優しい質感は店の雰囲気にも良く合う。

京都市出身の康範さんはアパレルメーカーの元役員で、繊維産地・桐

生を訪れる機会もあったという。一方で大分県出身の侑希乃さんは、東京で群馬県産の野菜を扱う八百屋で勤務していた。そんな桐生との縁は、21年に康範さんがE.C.に携わるようになったことで移住に発展。二人は「桐生は新しいスタートにちょうど良いまち」と、一家四人、新天地での生活を楽しむ。「さくげつ」は新月の別名で、月が好きな娘さんになんで名付けた。

一周年を前に、近所の主婦から市外の洋服好きまで幅広いファンに支持され、すっかり地域にも浸透している。移住夫婦が営む、桐生の日常に「ちょうど良い」自然で飾らない店だ。



【さくげつ】

- 住所／桐生市宮本町1-5-6
- 電話／0277-47-6830
- 営業時間／11:00~17:00
- 定休日／木曜・日曜日
- @sakugetsu_kiryu